

**The Tale of Peter Rabbit**  
(ピーターラビットのお話)

**P.64**

昔々、4匹の仔ウサギがいました。フロプシー、モプシー、コットン・テール…そしてピーター。

**【ヒント】**

～, there were four little rabbits: ～

<there + be 動詞 + ～>で、「～がある (あった)」という構文。

ここでの there は「そこに」などとは訳さない。

ラビットさんは、「マクグレガー氏の畑に入っちゃだめですよ。」と言いました。

フロプシーとモプシーとコットン・テールはいい子の兔ちゃんたちでしたが、ピーターは言うことを聞かない子でした。

彼は真っ先にマクグレガー氏の畑に行き、全部食べてしまいました。

**P.65**

ピーターは突然、畑でマクグレガー氏に会いました。

マクグレガー氏は飛び上がり、ピーターの後を走って追いかけてきました。

「止まれ、泥棒！」

ピーターは逃げましたが、ジャケットと靴と失くしてしまいました。

マクグレガー氏は、案山子を作るためにピーターの小さなジャケットと靴と吊るしました。

**【ヒント】**

Mr.McGregot hung up Peter's little jacket and shoes to make a scarecrow

<to + 動詞の原形>で、「～するために」という意味を表す。

これを不定詞の副詞的用法という。副詞であるので、動詞を修飾することになる。

本文では、hung up を修飾。